

地域の魅力を発見・発信する手作りマップ！タイ・バンコク編

タイ国際文化研修

メンバー：現代政策学部 吉野菜々子、岡野蒼生、辻夏菜子、木暮さち、本吉慧伍、榎本琉雅、中川璃音、土屋侑菜、佐保静香、久保直樹、畠山海吏

引率教員：現代政策学部 酒井宏平



1. Program

9月2日から18日までの期間、タイ王国バンコクにある最高学府であるチュラロンコン大学芸術学部にて、タイ国際文化研修を実施しました。テーマは「観光と文化が共存する社会を学ぶ」です！

酒井宏平先生の引率のもと、現代政策学部の学生11名がタイの文化や観光について、見て、聞いて、体験を通して学びました（このプログラムは、日本学生支援機構海外留学支援制度の「観光と文化を両立する社会づくりを学ぶ政策人材育成プログラム」の一環として実施されています）。

2. Map making

研修での成果を「地域の魅力を伝える手作りマップ」として、タイやバンコクでの学びや思い出を振り返り、発信するグループワークを実施しました。

各グループが感じたタイの魅力を自由に表現し、料理や観光名所、ユニークな地元の文化などが溢れるマップを作りました。

プログラム内容			
タイ語講座6回	タイ料理調理	講義4回 観光と文化	ジャスミンガーランド
JODD FAIRS ナイトマーケット	チャトゥチャック ウィークエンドマーケット	ムエタイ タイボクシング	アイコンサイアム
ワットポー/ワットアルン 視察	タイ伝統舞踊	サイアムエリア ショッピング	ジムソンプリンの家
キャンパスツアー	ピンクガネーシャ	手作りマップ	グループ発表

手作りマップの3つの利点	
1	異なる視点、特に外部の人々の意見を反映・表現しやすい
2	ストーリーを視覚的に表現できるので、思いが届きやすい
3	思い出を振り返ったり、絵を描いたりするので、楽しい！



3. Presentation

最終成果発表では、パワーポイントと作成した地図を使いながら、「誰が利用する地図なのか」、「どんな思いで作ったのか」、「工夫したポイント」、「改善点」などを発表しました。英語での発表だったので、苦労しつつも、タイの魅力や自分たちの学びを一生懸命伝えました。



チュラロンコン大学の教員や学生からも活発な質問が飛び交い、発表の内容に大いに興味を持ってもらえました。

修了証授与式では、チュラロンコン大学のKiat Thepchuaysuk先生から修了証が手渡されました。先生からは、「今回の成果発表は非常に質が高く、ぜひ来年もチュラロンコン大学で第3回研修を開催してほしい」との嬉しいお言葉をいただきました。

17日間という短い期間でしたが、真剣に学び、さまざまな経験を通じて成長できました。興味ある方は、ぜひ来年の研修にご参加ください！

